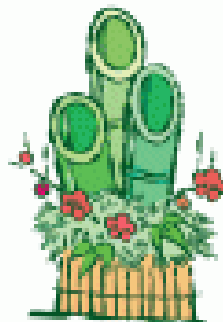


## 平成最後の〇〇

校長 早川 和男

新年、あけましておめでとうございます。

保護者・地域の皆様におかれましては健やかなよい年をお迎えのことと存じます。本年も子どもたちの成長のために、教職員一同全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



新しい年の幕開けです。平成31年が始まりました。平成の時代は今年の4月末までと決まっていますので、あと残り4か月で平成の時代は終わりになります。ですからこのお正月は「平成最後のお正月」でした。最近になって、「平成最後の〇〇」という言葉をよく耳にするようになりました。5月からは新天皇陛下のご即位に伴って新しい年号になりますので、来年の今頃は平成ではないということから、終わりを迎えようとしている平成という時代が「名残惜しい」という気持ちや「今のうちにやっておかねば」などというような気持ちになるのだと思います。新聞やテレビ番組などでは、30年間の平成時代をじっくりと振り返って変化を検証する特集を目にしました。小学校でもよく最高学年である6年生に向けて「小学校生活最後の〇〇」という言い方をします。6年生は3月に卒業しますので、最高学年としての1年間に行うことはすべて「小学校生活最後の〇〇」ということになります。6年生にとって、卒業までのこの3学期はまさに小学校6年間の集大成の学期ということになります。6年間の自分の成長をじっくりと振り返るとともに、最後の学期を精一杯やり遂げてほしいと思います。そして、この1年間学校行事やたてわり班活動等の活動をリードし支えてきた最高学年の6年生には、十三小の伝統をしっかりと下級生へ引き継いでいってほしいと思います。

話は変わりますが、新年を迎えたお正月には、ほとんどの人が新たな目標を立てると思います。「今年は1日に2時間勉強する。」とか「今年は毎日ジョギングをする。」など、やる気に満ちたものが多いと思います。新しい年は誰にとっても新たな取組への意欲と期待を高められるものです。今年はどうのような自分になりたいのか、どのように行動していくのかを意識して、自分自身で目標を設定することで、困難に立ち向かって努力をしようという強い意志をもてると思います。子どもたちにとって身近な存在である私たち大人はよきお手本であることが求められます。親として、教師として子どもたちのお手本になる、あこがれられる存在になりたいものです。

今年も引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

1月19日(土)は、道徳授業地区公開講座を予定しています。講師に中央大学陸上競技部短距離コーチの井原直樹先生をお招きして、お話しいただきます。また、18日~19日は書き初め展の保護者鑑賞日にもなっておりますので、どうぞご参観ください。よろしくお願ひいたします。